

通学路の安全整備について [7月31日(金)]

登下校における児童の安全確保について、以前からPTAの危険箇所点検および養父市への要望として、伊佐の交差点付近の待機スペースおよび歩道の確保があげられていました。また、地域の方からも、この場所の危険性を伝えていただいています。児童が登校する時間帯は特に交通量も多く、毎朝、保護者の方や地域の方が児童に寄り添って一緒に歩いていただいています。

先日、市及び県の担当者の方から、伊佐信号付近の安全確保について説明があり、昨日、工事が行われました。歩道を広くすることはできないため、車道と歩行者の通路との境界を明確にする工事が行われました。歩道の端には、赤いラバーポールが設置されたほか、歩行者が通る部分には、グリーンベルトが標示されました。

児童の安全確保について、多方面からのご支援とご協力をいただき、ありがとうございました。学校においても、交通事故の防止や自身の命を守る行動やマナーについて指導を継続して参ります。



伊佐橋から浅間方面へ(ガードレールのない場所は、グリーンベルトが引かれました。)



伊佐交差点信号付近(ラバーポールの設置)



坂本方面から三叉路へ(ラバーポールの設置)